

## 社員との対話の推進【27,DMA】

### 花王のアプローチ

花王では、良好な社員関係は会社の最も重要な企業文化の一つという認識のもと、さまざまな社員との対話の機会を確保するとともに、定期的な社員意識調査を実施し、よりよい組織と職場環境づくりに取り組んでいます。

### 社会的課題と花王のアプローチ

花王では権威主義を排し、経営幹部と社員が共に同じ目標に向かって努力するという企業文化を大切にしています。

会社の現況・方針や人財開発施策に関しては、社員代表と定期的に共有・議論の場を持ち、良好な労使関係の構築に努めています。

### 方針

経営層と社員との相互理解を図り、グループ全体の一体感の醸成と、社員のモチベーションの向上をねらいとして、対話の機会を設けています。経営層から社員へ会社の現況と方針・人財開発の重点課題を説明し、また社員からの質問にも答える意見交換の場を設けることで、経営層と社員の相互理解を促進します。また、積極的な意見交換を行ない、本質的な社員の声を把握し、今後の人財開発施策や職場環境改善等に活かします。

よりよい組織と職場環境をつくるため、定期的に社員意識調

査を実施しています。組織の状態を数値データで可視化することで各組織の強みや弱みを確認し、結果の分析に基づき課題を見つけ、改善方法を議論して改善計画を立案し実行するという、組織・職場改善のためのRPDCA※サイクルを徹底しています。

※ RPDCAサイクル

業務改善のPDCAサイクルにR(Research)「現状分析」を加え、変化する状況への対応力を高めたもの。

## 体制

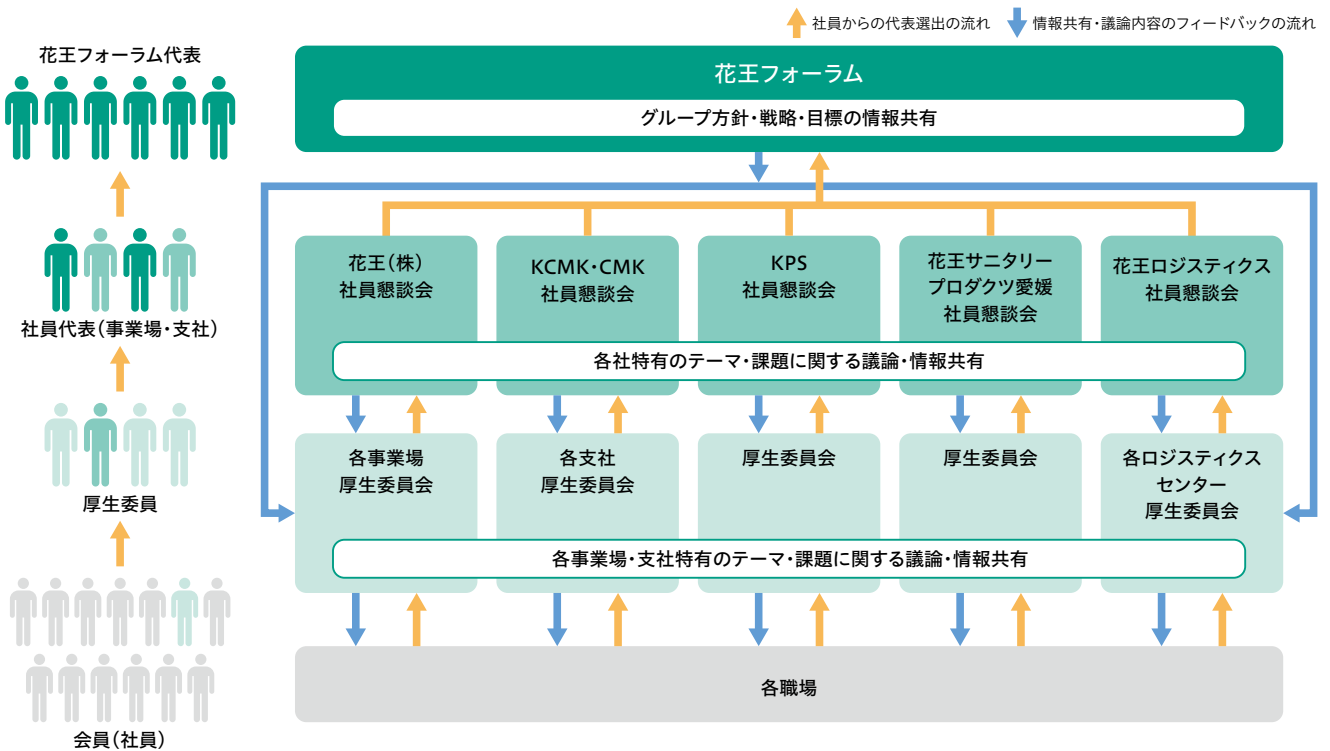
定期的な社員との対話の場として、各事業場・支社における厚生委員会、各社における社員懇談会、花王グループ全体の花王フォーラムを設けています。

花王フォーラムには、花王(株)、花王グループカスタマーマーケティング(株)(KCMK)、花王カスタマーマーケティング(株)(CMK)、花王プロフェッショナル・サービス(株)(KPS)、花王

ロジスティクス(株)、花王サニタリープロダクツ愛媛(株)の社員代表が参加します。

厚生委員会は月1回実施、社員懇談会・花王フォーラムは年2回実施しています。それぞれの会で議論・共有した内容は社員代表や厚生委員を通じて、社員への継続的・相互的な情報共有を実施しています。

### 社員の対話に関する体制



## 中長期目標

社員意識調査の定期的な実施と組織改善に向けたRPDCAサイクルの強化・徹底

### 2016年の実績

- ・2016年4月社員意識調査(社員の声・意識調査「Find」)をグローバルで実施。対象者数33,208人のうち、94%の回答率を得ました。
- ・2016年1月、7月に花王グループ各社社員懇談会、花王フォーラムを実施。2016年5月には欧州地域の従業員代表18人が参加し、Kao European Forumを実施しました。花王フォーラムでは花王(株)15人、KCMK/CMK10人、KPS2人、花

王ロジスティクス1人、花王サニタリープロダクツ愛媛1人の計29人の社員代表が参加。社員代表より各事業の方向性、商品開発・販売施策の展開、社会貢献活動等について質問が寄せられました。社員代表からは、「グループの一員としての意識が高まった」「方向性や考え方を知ることができ今後の指針となる」といった多数の意見が寄せられました。

具体的な取り組み

社員の声・意識調査「Find」2016の実施とアクションプラン策定

グローバル

定期的な社員意識調査である「社員の声・意識調査『Find』」を、国内外33,208人を対象として実施し、回答率94%と多くの社員の回答を得ました。設問項目は、「会社・組織の機能」「仕事の機能」「社員の側面」および「会社・仕事への満足」の4つのカテゴリとし、各組織の強み・弱みや環境変化への対応が遅れている部分を導き出し、各組織での議論を経てアクションプランを策定しました。

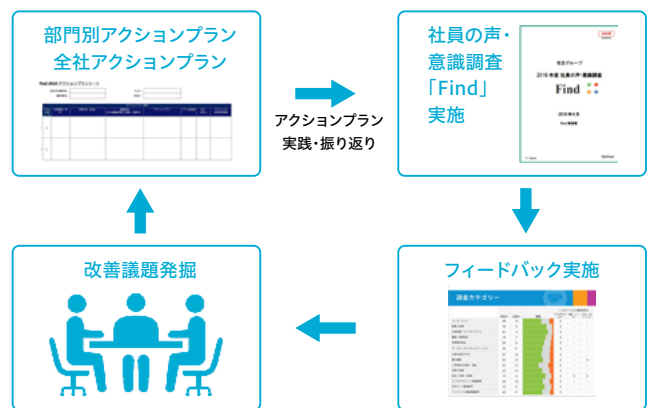
本調査は2年に1回実施しており、1年目は調査実施、結果分析・アクションプラン策定に注力し、2年目は策定したアクションプランを実行に移しています。そして、その取り組みの結果を翌年の調査で確認するというRPDCAサイクルを回しています。

2016年の調査結果をもとに花王グループ全体のアクションプランとして「K20達成に向けて、一人ひとりが変化を起こし、会社と社員が共にチャレンジしていく風土を強化する」を策定しました。このアクションプランに加え、各社・各部門固有の課題に対して、より効果的で実践的なアクションプランを策定しました。

2017年度はそれぞれのアクションプランに対して全社員が当

事者意識を持ち取り組みます。進捗状況を会社と社員双方が定期的に確認し、より確実にアクションプランを実践します。次回2018年実施予定の「Find」にて成果を確認し、継続的に組織力の向上に取り組みます。

組織力向上のRPDCA



「Find」の調査項目

